

3D解析がわかりやすい!

スイングの 良し悪しを可視化!



ゴルフレッスンツールはどんどん進化している。衣料繊維、産業資材など幅広い市場で高い技術力を持つ帝人フロンティアがゴルフ界に送り出すのは、これまでにないデジタルレッスンツールである。藤田光里プロのレポートでご覧いただきたい。

撮影：小林司
取材協力：PGMゴルフアカデミー 銀座

ゴルフ本気のエピソード集
2021
Episode
12

新デジタルレッスンツール「MATOUS® GOLF」を藤田光里プロが体験レポート!

多様なデジタルトレーニングを実現する「MATOUS® GOLF」

今企画で紹介した基本プログラムに加え、今後さらなるアップデートを積極的に予定。ティーチングプロが各自で独自のレッスン内容を組み合わせたデジタルトレーニングツールとして進化していく。

●マトウス®ゴルフシステムのレンタルに関するお問い合わせ
帝人フロンティア株式会社 新事業開発室
TEL06-6233-2174

専用ベスト+リストバンドを付けてスイングして3Dアバター化

今年2月よりスタートした「MATOUS® GOLF」(マトウス®ゴルフ)を、ツアープロで初の体験者がなんと私、藤田光里ということで、私でいいの?って不安な感じ(笑)ですが、しっかりとレポートさせていただきます!

簡単に説明しますと「マトウス®ゴルフ」は、ゴルフアターのスイング動作を測定できるシステムです。専用のセンシングウェア(センサー装着)と新開発のアプリケーションが運動することで、スイング動作を3Dアバター化。計測されたモーションデータは、セットアップからフォロースルーまであらゆる角度から多面的に解析が可能

です。これって...凄い。私はいつも自分のスイング動画撮影をして分析していますが、調子の良悪のポイントは動画からイマイチわからないことが多い。例えば「マトウス®ゴルフ」で絶対調子の自分のスイングをデータ化しておいて、比較できたら改善するべきポイントが一目瞭然となるわけ! スイングフォームの改善は「鏡を見る」からスマホの普及で「動画を撮る」に、そしてさらに「デジタル解析」に、いよいよ進化する時が来たんだ! と、この「マトウス®ゴルフ」の普及が楽しみでなりません。

レポーター
藤田光里プロ
ふじたひかり、1994年9月26日生まれ、北海道出身、ゼビオホールディングス所属。



「マトウス®ゴルフ」の解析準備は、センシングウェアである専用ベストとセンシングリストバンドを装着するだけ!

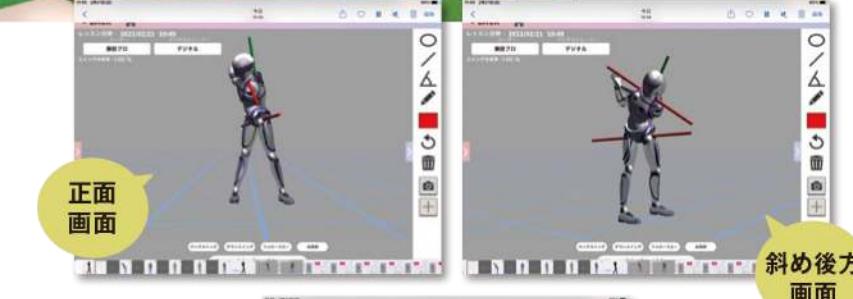
スイングの基盤である正しい体幹軸の動きをデジタルコーチング

「マトウス®ゴルフ」では、主にスイングの基盤を担う体幹軸の状態を3Dアバター上であらゆる角度から解析することができます。ゴルフスイングは体の回旋運動で成り立っている動きであり、それを担う体幹軸はブレなく正しくキープすることが何よりスイング固めの基礎中の基礎。レッスンではわかりにくいような感覚的な要素を「マトウス®ゴルフ」の3Dデータがわかりやすくさせてくれるというわけです。

「マトウス®ゴルフ」はまずティーチングプロに向けてレンタルサービスが開始されました。ティーチングプロ自身がスイングの模範となり、「マトウス®ゴルフ」上で生徒となるアマチュアゴルファーとデータ・スイング比較することで目指すべき動きをわかりやすく示すためのツールとして発揮されるそうです。一般的にスイング解析機はコストがかかりますが、「マトウス®ゴルフ」なら時間や場所の制限なく、エビデンスを用いたレッスンが可能になりますね!

一般ゴルファーへの展開はもう少し先とのこと。練習場で「マトウス®ゴルフ」のセンシングベストを着て、練習に励むゴルファーが当たり前になる将来はもうすぐ!

解析開始!



斜め後方画面

正面画面



真上画面

タブレット上の専用アプリ画面にて、スイングフォームを瞬時に3Dアバター化。あらゆる角度から動きを解析できる。

模範スイングとの比較機能

今回、私の解析ショットはマトウス®ゴルフの亀井崇雄プロを模範スイングとして比較。セットアップ、バックスイング、ダウンスイング、インパクト、フォロースルーと、スイング体幹軸をベースとした比較が可能。模範となるコーチとの比較で生徒(アマチュア)は良点、改善点を共有できる。点数評価されるのはゲーム感覚で上達を楽しめてGOOD!

オフを意識して取り組んだセットアップの改善が、いい評価でよかった!

